

メッセージログリファレンス

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management

10.1

2008 年 8 月 1 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、「[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/)」の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、本書に記載されている製品内で実地されている技術に関連する知的所有権を有しています。これらの知的所有権は、「[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/)」の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell のマニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。

目次

このガイドについて	7
1 概要	9
1.1 Message Logger の機能	9
1.2 メッセージ重大度	9
1.3 メッセージ形式	10
2 Message Logger の設定	11
2.1 ゾーンレベルでの Message Logger の設定	11
2.1.1 ローカルデバイスのログ	11
2.1.2 集中型のメッセージログ	12
2.2 フォルダレベルでの Message Logger の設定	15
2.3 デバイスレベルでの Message Logger の設定	15
2.4 デバッグメッセージの有効化	15
3 メッセージの管理	17
3.1 メッセージ形式の理解	17
3.1.1 ローカルログファイル形式	17
3.1.2 電子メール形式	18
3.1.3 SNMP メッセージ形式	18
3.1.4 UDP ペイロード形式	19
3.2 メッセージステータスの表示	20
3.2.1 メッセージ概要	20
3.2.2 デバイスホットリスト	20
3.3 メッセージの表示	21
3.3.1 メッセージログ	21
3.3.2 システムメッセージログ	22
3.4 メッセージの承認	23
3.4.1 メッセージの承認	23
3.4.2 複数メッセージの承認	24
3.4.3 指定の時刻にログされたメッセージの承認	24
3.5 メッセージの削除	25
3.5.1 メッセージの削除	25
3.5.2 複数メッセージの削除	25
3.5.3 指定の時刻にログされたメッセージの削除	26

このガイドについて

『Novell Zenworks Configuration Management メッセージログリファレンス』には、Message Logger の各種機能に関する情報と Novell® ZENworks® 10 システムを設定して管理するために役立つ手順が記載されています。このガイドの情報は、以下のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「概要」
- ◆ 11 ページの第 2 章「Message Logger の設定」
- ◆ 17 ページの第 3 章「メッセージの管理」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、『ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (10.1) (<http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html>)』を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

プラットフォームによっては、シングルパス名に円記号 (\) を使用できる場合とスラッシュ (/) を使用できる場合がありますが、パス名は円記号で表記されます。Linux* など、スラッシュを必要とするプラットフォームを使用しているユーザは、ソフトウェアによる要求に従ってスラッシュを使用する必要があります。

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management の Message Logger コンポーネントを使用すると、zenloader や webservice、ZENworks Management Daemon (ZMD)、Remote Management、Policy Enforcers コンポーネントなどその他の ZENworks コンポーネントのログメッセージをさまざまな出力ターゲットに送信できます。出力ターゲットには、システムログ、ローカルログ、データベース、SMTP、SNMP トラップ、および UDP があります。

以下の項では、Message Logger コンポーネントに関する追加情報について説明します。

- ◆ 9 ページのセクション 1.1 「Message Logger の機能」
- ◆ 9 ページのセクション 1.2 「メッセージ重大度」
- ◆ 10 ページのセクション 1.3 「メッセージ形式」

1.1 Message Logger の機能

Message Logger は、以下の機能を実行します。

- ◆ ローカルファイルにメッセージを書き込む
- ◆ システムログまたはイベントログにメッセージを書き込む
- ◆ 管理コンソールにメッセージを書き込む
- ◆ 管理サーバにメッセージを送信する
- ◆ SMTP メールとして、メッセージをプライマリサーバから SMTP サーバに送信する
- ◆ SNMP トラップとして、メッセージをプライマリサーバからリモートマシンまたはローカルマシンに送信する
- ◆ UDP パケットとして、メッセージを UDP 宛先に送信する
- ◆ ZENworks データベースにメッセージを書き込む
- ◆ ZENworks データベースからデータベースエントリを自動的にパージする
- ◆ ZENworks データベースのメッセージを自動的に確認する

1.2 メッセージ重大度

メッセージとは、さまざまなコンポーネントやモジュールによって生成されるイベントのことです。これらのイベントには、エラー、警告、ユーザに対する情報、モジュールをデバッグするためのデバッグステートメントなどが含まれます。

メッセージは、以下の重大度レベルに基づいて分類されます。

エラー: ユーザエラーまたはシステムエラーのため、アクションを完了できないことを示します。これらのメッセージは重大であり、管理者からの即時の注意を必要とします。

警告: 例外状況を示します。エラーではないものの、これが原因で後で問題が発生する可能性があります。これらのメッセージは、管理者からの即時の注意を必要としません。

情報：管理者にとって重要であり有益である、製品またはシステムで発生した何らかの事象に関するフィードバックです。

デバッグ：発生する可能性のある問題をトラブルシューティングおよび解決するためのデバッグ情報を提供します。デバッグメッセージは、ローカルファイルにのみ保存されます。

1.3 メッセージ形式

メッセージは、出力ターゲットに基づいてさまざまな形式でログされます。メッセージ形式の詳細については、[17 ページのセクション 3.1「メッセージ形式の理解」](#)を参照してください。

Message Logger の設定

2

以下の項では、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management の Message Logger コンポーネントを設定する方法について説明します。

- 11 ページのセクション 2.1 「ゾーンレベルでの Message Logger の設定」
- 15 ページのセクション 2.2 「フォルダレベルでの Message Logger の設定」
- 15 ページのセクション 2.3 「デバイスレベルでの Message Logger の設定」
- 15 ページのセクション 2.4 「デバッグメッセージの有効化」

2.1 ゾーンレベルでの Message Logger の設定

以下の項では、メッセージログを有効にするために管理ゾーンで設定を行う場合に役立つ情報について説明します。

- 11 ページのセクション 2.1.1 「ローカルデバイスのログ」
- 12 ページのセクション 2.1.2 「集中型のメッセージログ」


2.1.1 ローカルデバイスのログ

ZENworks コントロールセンターの [ローカルデバイスのログ] ページでは、ローカルドライブおよび管理対象デバイスのシステムログファイルへのメッセージログを設定できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで、[デバイス管理] をクリックして、[ローカルデバイスのログ] をクリックします。
- 3 [ローカルファイル] パネルで、以下のオプションを設定します。

重大度が次の場合は、メッセージをローカルファイルにログします：次の中から1つを選択します。

- **エラー：**重大度が「エラー」のメッセージを保存します。
- **警告とそれ以上：**重大度が「警告」と「エラー」のメッセージを保存します。
- **情報とそれ以上：**重大度が「情報」、「警告」、および「エラー」のメッセージを保存します。
- **デバッグとそれ以上：**重大度が「デバッグ」、「情報」、「警告」、および「エラー」のメッセージを保存します。

個別のデバイスで ZENworks® Adaptive Agent の問題をトラブルシューティングする必要がある場合、追加の情報もログ記録されるようにするため重大度の設定を変更できます。デバイス上で、システムトレイの  アイコンをダブルクリックし、左のナビゲーションペインの [ロギング] をクリックして、[重大度が次の場合にメッセージをログ記録] ドロップダウンリストからオプションを選択します。

サイズによるローリング: ファイルサイズに基づいて、現在のログファイルを閉じて新しいファイルを開始します。

- **ファイルサイズを制限:** ログファイルの最大サイズをキロバイト (KB) またはメガバイト (MB) で指定します。ファイルのサイズが指定した制限に達すると現在のログファイルが閉じられ、新しいファイルが開始されます。
- **バックアップファイルの数:** サイズ制限に達したために閉じたファイルは、一定の数だけバックアップとして保管しておくことができます。その数を指定します。バックアップファイルの最大数は 13 です。

日付によるローリング: 以下のスケジュールに基づいて、現在のログファイルを閉じて新しいファイルを開始します。

- **日次パターン:** 毎日新しいファイルを開始します。
- **月次パターン:** 毎月新しいファイルを開始します。

Windows* 管理対象デバイスでは、ローカルファイルは zmd-messages.log、loader-messages.log、および services-messages.log です。zmd-messages.log ファイルは、\novell\zenworks\logs\localstore に保存されています。loader-messages.log および services-messages.log は、\novell\zenworks\logs に保存されています。

Linux の管理対象デバイスでは、ローカルファイル messages.log および services-messages.log は、/var/opt/novell/log/zenworks に保存されています。

4 [システムログ] パネルで、以下のオプションを設定します。

重大度が次の場合は、メッセージをローカルシステムに送信: 次のの中から 1 つを選択します。

- **エラー:** 重大度が「エラー」のメッセージを保存します。
- **警告とそれ以上:** 重大度が「警告」と「エラー」のメッセージを保存します。
- **情報とそれ以上:** 重大度が「情報」、「警告」、および「エラー」のメッセージを保存します。

システムログファイルは、Windows では event.log、Linux では /var/log/messages です。

2.1.2 集中型のメッセージログ

ZENworks コントロールセンターの [集中型のメッセージログ] ページでは、プライマリサーバによって実行されるメッセージログに関連する設定を行うことができます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで、[イベントとメッセージング] をクリックして、[集中型のメッセージログ] をクリックします。
- 3 [メッセージの自動クリーンアップ] パネルで、自動的に承認する、またはログ済みのメッセージを ZENworks サーバから削除するように設定します。

優先される保守サーバ: データベースからログされたメッセージを承認または削除するために、メッセージクリーンアップアクションが実行される優先サーバの IP アドレスを指定します。

情報: 情報メッセージに対して以下の設定を行うことができます。

- **指定期日が過ぎたら自動承認する:** 指定する日数より古い記録された情報メッセージを自動的に承認できます。たとえば、30 日と指定すると、メッセージのクリーンアップアクティビティが実行されるようにスケジュール設定している場

合、現在の日付より 30 日前までにログ記録されたすべての情報メッセージが承認されます。0 を指定すると、今日までの情報メッセージが承認されます。デフォルトでは、60 日より古いすべての情報メッセージが自動的に承認されます。

- ◆ **[] 日より古い場合自動的に削除する** : 指定する日数より古い記録された情報メッセージを自動的に削除できます。たとえば、30 日と指定すると、メッセージのクリーンアップアクティビティが実行されるようにスケジュール設定している場合、現在の日付より 30 日前までにログ記録されたすべての情報メッセージが削除されます。0 を指定すると、今日までの情報メッセージが削除されます。デフォルトでは、60 日より古いすべての情報メッセージが自動的に削除されます。

自動承認の日付と自動削除の日付を指定するときには、自動承認の日数は、自動削除の日数より常に少なくする必要があります。

警告 : 警告メッセージに対して以下の設定を行うことができます。

- ◆ **指定期日が過ぎたら自動承認する** : 指定する日数より古い記録された警告メッセージを自動的に承認できます。たとえば、30 日と指定すると、メッセージのクリーンアップアクティビティが実行されるようにスケジュール設定している場合、現在の日付より 30 日前までにログ記録されたすべての警告メッセージが承認されます。0 を指定すると、今日までの警告メッセージが承認されます。デフォルトでは、60 日より古いすべての警告メッセージが自動的に承認されます。
- ◆ **[] 日より古い場合自動的に削除する** : 指定する日数より古い記録された警告メッセージを自動的に削除できます。たとえば、30 日と指定すると、メッセージのクリーンアップアクティビティが実行されるようにスケジュール設定している場合、現在の日付より 30 日前までにログ記録されたすべての警告メッセージが削除されます。0 を指定すると、今日までの警告メッセージが削除されます。デフォルトでは、60 日より古いすべての警告メッセージが自動的に削除されます。

自動承認の日付と自動削除の日付を指定するときには、自動承認の日数は、自動削除の日数より常に少なくする必要があります。

エラー : エラーメッセージに対して以下の設定を行うことができます。

- ◆ **指定期日が過ぎたら自動承認する** : 指定する日数より古い記録されたエラーメッセージを自動的に承認できます。たとえば、30 日と指定すると、メッセージのクリーンアップアクティビティが実行されるようにスケジュール設定している場合、現在の日付より 30 日前までにログ記録されたすべてのエラーメッセージが承認されます。0 を指定すると、今日までのエラーメッセージが承認されます。デフォルトでは、60 日より古いすべてのエラーメッセージが自動的に承認されます。
- ◆ **[] 日より古い場合自動的に削除する** : 指定する日数より古い記録されたエラーメッセージを自動的に削除できます。たとえば、30 日と指定すると、メッセージのクリーンアップアクティビティが実行されるようにスケジュール設定している場合、現在の日付より 30 日前までにログ記録されたすべてのエラーメッセージが削除されます。0 を指定すると、今日までのエラーメッセージが削除されます。デフォルトでは、60 日より古いすべてのエラーメッセージが自動的に削除されます。

自動承認の日付と自動削除の日付を指定するときには、自動承認の日数は、自動削除の日数より常に少なくする必要があります。

メッセージクリーンアップを実行する曜日と時刻を選択する : メッセージクリーンアップアクションを実行する曜日と時刻を指定できます。管理者はメッセージクリーンアップアクションの日次スケジュールを設定できます。

協定世界時 (UTC) の使用 : 指定した時間を UTC (GMT) に変換できます。デフォルトでは、このオプションは選択されています。

- 4 [電子メール通知] パネルで、電子メールを使用して管理者にエラーメッセージを送信するための設定を行います。

重大度が次の場合は、電子メール経由でログメッセージを送信 : 電子メールを使用したログメッセージの送信をトリガするメッセージの重大度を選択できます。

送信者 : 送信者の電子メールアドレスを指定します。

宛先 : 受信者の電子メールアドレスを指定します。カンマ (,) で区切れば、複数の電子メールアドレスを指定できます。

件名 : プライマリサーバから電子メールを送信する際に含まれる件名を指定します。マクロの値を使用して、[件名] フィールドをカスタマイズできます。[件名] フィールドのカスタマイズに関する詳細については、[18 ページのセクション 3.1.2 「電子メール形式」](#) を参照してください。

- 5 [SNMP トラップ] パネルで、ログメッセージを送信する ZENworks サーバの SNMP トラップを設定します。

重要度が次の場合に SNMP トラップとして送信 : ログメッセージの重大度が「エラー」の場合、SNMP トラップを送信します。

トラップターゲット : SNMP サーバの IP アドレスまたは DNS 名を指定します。

ポート : この操作用に設定された SNMP サーバのポート番号を指定します。デフォルトのポート番号は 162 です。

コミュニティ文字列 : 送信される SNMP トラップの接続文字列を指定します。

- 6 [UDP 転送者] パネルで、UDP サービスを通じてログメッセージを送信するための設定を行います。以下の表では、使用できるオプションに関する情報について説明しています。

UDP 経由でのメッセージ送信 : ログされたメッセージの重大度が「エラー」の場合に、UDP の宛先にメッセージを送信します。

UDP の宛先 : [追加]、[編集]、および [削除] オプションを使用して、以下の作業を実行できます。

◆ サーバの追加

1. [追加] をクリックして、[UDP の宛先アドレスの追加] ダイアログボックスを表示します。
2. この操作用に設定されたサーバの名前と UDP ポート番号を指定します。
3. [OK] をクリックします。

◆ サーバの削除

1. サーバ (複数可) の横にあるチェックボックスを選択します。
2. [削除] をクリックします。

◆ サーバ詳細の編集

1. サーバの横にあるチェックボックスを選択します。
2. [編集] をクリックして、[UDP の宛先の編集] ダイアログボックスを表示します。
3. 目的に応じて設定を変更し、[OK] をクリックします。

2.2 フォルダレベルでの Message Logger の設定

デフォルトでは、ゾーンレベルで行った Message Logger 設定が、すべての管理対象デバイスに適用されます。ただし、1つのフォルダ内のすべてのデバイスに対して、[ローカルデバイスのログ] 設定を変更できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 Message Logger の設定を行う [フォルダ(詳細)] オプションをクリックします。
- 3 [設定] をクリックし、[デバイス管理] > [ローカルデバイスのログ] をクリックします。
- 4 [上書き] をクリックします。
- 5 必要に応じて、ログ設定を編集します。
- 6 変更内容を適用するには、[適用] をクリックします。
または
ゾーンレベルで設定された [ローカルデバイスのログ] 設定に戻すには、[元に戻す] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックします。

2.3 デバイスレベルでの Message Logger の設定

デフォルトでは、ゾーンレベルで行った Message Logger 設定が、すべての管理対象デバイスに適用されます。ただし、管理対象デバイスに対する [ローカルデバイスのログ] の設定は変更できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 [サーバ] または [ワークステーション] をクリックして管理対象デバイスのリストを表示します。
- 3 Message Logger 設定を行うデバイスをクリックします。
- 4 [設定] をクリックし、[デバイス管理] > [ローカルデバイスのログ] をクリックします。
- 5 [上書き] をクリックします。
- 6 必要に応じて、ログ設定を編集します。
- 7 変更内容を適用するには、[適用] をクリックします。
または
ゾーンレベルで設定された [ローカルデバイスのログ] 設定に戻すには、[元に戻す] をクリックします。
- 8 [OK] をクリックします。

2.4 デバッグメッセージの有効化

すべてのコンポーネントに対してデバッグメッセージのログを有効にする

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで、[デバイス管理] をクリックして、[ローカルデバイスのログ] をクリックします。

- 3 [ローカルファイル] パネルで、[重大度が次の場合は、メッセージをローカルファイルにログします] オプションを選択して、重大度として [デバッグとそれ以上] を選択します。
- 4 [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

メッセージの管理

Message Logger コンポーネントを使用すると、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management のその他のコンポーネントによってログされたメッセージを管理できます。

- 17 ページのセクション 3.1 「メッセージ形式の理解」
- 20 ページのセクション 3.2 「メッセージステータスの表示」
- 21 ページのセクション 3.3 「メッセージの表示」
- 23 ページのセクション 3.4 「メッセージの承認」
- 25 ページのセクション 3.5 「メッセージの削除」

3.1 メッセージ形式の理解

- 17 ページのセクション 3.1.1 「ローカルログファイル形式」
- 18 ページのセクション 3.1.2 「電子メール形式」
- 18 ページのセクション 3.1.3 「SNMP メッセージ形式」
- 19 ページのセクション 3.1.4 「UDP ペイロード形式」

メッセージは、ローカルログ、電子メール通知、SNMP トラップ、および UDP 通知など、出力ターゲットに基づくさまざまな形式でログされます。

すべてのエラーメッセージに、エラーの生成対象であるコンポーネント名がログされます。エラーをトラブルシューティングするには、そのコンポーネントのリファレンスガイドを参照してください。

例 1: ポリシー管理に関連するエラーです。

```
[DEBUG] [7/22/2007 3:42:45 PM] [] [PolicyManager] [] [Name = RM_dev, Guid = 271414163524d000190dbc6fa94272aa, Type = remote management policy, Version = 2] [] [].
```

このエラーをトラブルシューティングするには、『*ZENworks 10 Configuration Management ポリシー管理リファレンス*』を参照してください。

例 2: リモート管理に関連するエラーです。

```
[ERROR] [15-07-2007 12:44:16] [] [Remote Management]
[RemoteManagement.VNCEVENT_CANNOT_OPEN_EVENT] [Unable to open the
<ZRMUserLoginEvent> event] [] [].
```

このエラーをトラブルシューティングするには、『*ZENworks 10 Configuration Management リモート管理リファレンス*』を参照してください。

3.1.1 ローカルログファイル形式

メッセージは管理対象デバイスおよび ZENworks サーバに以下の形式でログ記録されます。

```
[severity] [loggingTime] [userGUID] [componentName] [MessageID] [MessageString]
[additionalInfo] [RelatedGUID].
```

たとえば、[DEBUG] [1/22/2007 12:09:15 PM] [] [ZMD] [] [refreshing QuickTaskRefresh(GeneralRefresh)] [] [] です。

3.1.2 電子メール形式

電子メールメッセージは、メッセージヘッダとメッセージ本文で構成されます。

- ♦ 18 ページの「メッセージヘッダ」
- ♦ 18 ページの「メッセージ本文」

メッセージヘッダ

電子メールの件名フィールドは、キーワード代替マクロを使用して、必要に応じてカスタマイズできます。

マクロ	値
%s	メッセージの重大度です。
%c	コンポーネント名です。
%d	メッセージが生成されるデバイスの ID です。
%t	メッセージ生成の時刻です。
%a	メッセージが生成されるデバイスの別名です。

たとえば、件名の行に「ERROR occurred on device Testifies at 4/1/07 5:31:01 PM」と表示する場合は、[件名] フィールドに「%s occurred on device %a at %t」と入力します。

メッセージ本文

メッセージ本文は以下のフィールドで構成されます。

- ♦ デバイスの別名：メッセージが生成されるデバイスの名前です。
- ♦ デバイス IP アドレス：メッセージが生成されるデバイスの IP アドレスです。
- ♦ エラー：[日付] コンポーネント名 メッセージ ID ローカライズ済み文字列。
- ♦ 追加情報：(オプション) 追加情報です。

3.1.3 SNMP メッセージ形式

SNMP メッセージは、以下の 2 つの部分で構成されます。

- ♦ 18 ページの「SNMP メッセージヘッダ」
- ♦ 19 ページの「プロトコルデータユニット (PDU)」

SNMP メッセージヘッダ

ヘッダには以下のフィールドが含まれています。

バージョン番号：使用される SNMP のバージョンを指定します。ZENworks 10 Configuration Management では SNMPv 1 を使用します。

コミュニティ文字列: ネットワーク管理システム (NMS) グループに対するアクセス環境を定義します。

プロトコルデータユニット (PDU)

PDU には以下のフィールドが含まれています。

エンタープライズ: トラップを生成する管理対象オブジェクトのタイプを識別します。ZENworks 10 Configuration Management では 1.3.6.1.4.1.23.2.80.100 を使用します。

エージェントアドレス: トラップが生成されたマシンの IP アドレスを提供します。

汎用トラップタイプ: 整数値 6 が含まれます。タイプ 6 は、エンタープライズ固有のトラップタイプで、SNMP には標準の解釈がありません。トラップの解釈は、Message Logger MIB によって定義されている特定のトラップタイプフィールドの値に基づいています。

固有のトラップコード: ZENworks 10 Configuration Management で生成されるエンタープライズ固有のトラップの場合、固有のトラップタイプフィールドの値は、以下のようになります。

- ◆ 重大度レベル MessageLogger.ERROR の場合、特定のトラップは 1 です。
- ◆ 重大度レベル MessageLogger.WARN の場合、特定のトラップは 2 です。
- ◆ 重大度レベル MessageLogger.INFO の場合、特定のトラップは 3 です。

タイムスタンプ: トラップが発生した時間を示すタイムスタンプです。

変数バインディング: トラップに関連する追加情報を提供します。このフィールドは、以下の名前 / 値のペアで構成されます。

- ◆ トラップ ID 1.3.6.1.4.1.23.2.80.100.0.1 の場合、値はデバイス GUID です。
- ◆ トラップ ID 1.3.6.1.4.1.23.2.80.100.0.2 の場合、値はデバイス名です。
- ◆ トラップ ID 1.3.6.1.4.1.23.2.80.100.0.3 の場合、値はコンポーネント名です。
- ◆ トラップ ID 1.3.6.1.4.1.23.2.80.100.0.4 の場合、値はメッセージがログされた時刻です。
- ◆ トラップ ID 1.3.6.1.4.1.23.2.80.100.0.5 の場合、値はメッセージ ID です。
- ◆ トラップ ID 1.3.6.1.4.1.23.2.80.100.0.6 の場合、値は考えられる原因です。

3.1.4 UDP ペイロード形式

ペイロードは、各要素に対する \0 または 0 x 00 (16 進数) など、null で終了する区切り文字を持つバイト配列です。各要素のデータは、UTF-8 エンコード文字列で表示され、以下のように説明されます。

- ◆ 最初の要素は、ZENworks のバージョン情報です。たとえば、10 です。
- ◆ 2 番目の要素は、メッセージの重大度の値です。重大度の値は、「情報」メッセージは 4、「警告」メッセージは 6、「デバッグ」メッセージは 8 です。
- ◆ 3 番目の要素は、メッセージ日付です。日付はローカル固有のものではなく、UTF-8 文字列で表示されます。たとえば、09-Mar-2008 14:15:44 などです。
- ◆ 4 番目の要素は、ユーザ ID です。
- ◆ 5 番目の要素は、コンポーネント名です。

- 6 番目の要素は、非ローカライズメッセージの ID です。
- 7 番目の要素は、ローカライズメッセージの文字列です。
- 8 番目の要素は、追加の情報です。
- 9 番目の要素は、推定される原因の URL です。
- 10 番目の要素は、カンマで区切られた関連する GUID オブジェクトです。

注: 要素にデータがない場合は、\0\0 として表示されます。

3.2 メッセージステータスの表示





ZENworks コントロールセンターでは、ホームページの以下のパネルで、ログされたメッセージのステータスを表示できます。

- 20 ページのセクション 3.2.1 「メッセージ概要」
- 20 ページのセクション 3.2.2 「デバイスホットリスト」




3.2.1 メッセージ概要

[メッセージ概要] パネルには、管理ゾーンの 4 つのメインオブジェクトであるサーバ、ワークステーション、ポリシー、およびバンドルで生成された重大、警告、および通常のメッセージの数が表示されます。

図 3-1 メッセージ概要

メッセージ概要				合計
 サーバ	0	0	1	1
 ワークステーション	0	0	1	1
 ポリシー	0	0	0	0
 バンドル	0	0	0	0



[メッセージ概要] パネルでは、以下を実行できます。

- root フォルダを表示するオブジェクトタイプをクリックします。たとえば、[サーバ] をクリックして、[サーバ] のルートフォルダを表示します。
- 任意のオブジェクトタイプで、いずれかのステータスカラム (  ) の数字をクリックすると、現在そのステータスであるオブジェクトがすべて一覧表示されます。たとえば、通常ステータスのポリシーのリストを確認するには、[ポリシー] カラムの数字をクリックします。
- 任意のオブジェクトタイプで、[合計] カラムの数字をクリックすると、重大、警告、または通常のメッセージタイプを持つオブジェクトがすべて表示されます。たとえば、[サーバ] の合計数をクリックすると、メッセージがログされているすべてのサーバが一覧表示されます。

3.2.2 デバイスホットリスト

デバイスホットリストには、重大または警告のメッセージを生成したデバイスのリストが表示されます。デバイスは、メッセージが認識されるまではホットリストにあります。このリストは、デバイスに対して注意が必要である問題の概要として使用できます。

リストは、イベントの重大度に基づいて並んでいます。イベントを表示するには、以下のいずれかを実行します。


- ◆ 重大ステータスを持つイベントのみを表示するには、カラム見出しにある  アイコンをクリックします。
- ◆ 警告ステータスを持つイベントのみを表示するには、カラム見出しにある  アイコンをクリックします。
- ◆ デバイスのメッセージログを表示するには、デバイスをクリックします。

デバイスホットリストを表示する

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ホーム] タブをクリックします。



デバイスホットリスト			
			タイプ 項目
1	0	5	 dmvirfr
0	0	12	 tpc50

このリストには一度に 5 項目のみが表示されます。次の項目セットを表示するには、 アイコンをクリックします。

3.3 メッセージの表示

ZENworks コントロールセンターでは、ログされたメッセージを以下のように表示できます。:

- ◆ 21 ページのセクション 3.3.1 「メッセージログ」
- ◆ 22 ページのセクション 3.3.2 「システムメッセージログ」

3.3.1 メッセージログ






[メッセージログ] には、デバイス、バンドル、またはポリシーなどのオブジェクトに対して生成されたすべての未承認メッセージが表示されます。

メッセージログを表示する


- 1 ZENworks コントロールセンターで、ホームページの [デバイスホットリスト] をクリックして、メッセージログを表示するデバイスをクリックします。


[デバイス] メニューを使用して、ログを表示することもできます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 [サーバ] または [ワークステーション] をクリックして管理対象デバイスのリストを表示します。
- 3 デバイスの名前をクリックして、[概要] タブをクリックして表示します。

メッセージログ		詳細
ステータス	メッセージ	日付
	Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\inventory\c03903e486	8 6
	シャットダウンアクションが即時再起動の要求を出しています。	8 2
	Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\inventory\c03903e486	8 1
	Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\inventory\c03903e486	8 1
	Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\inventory\c03903e486	8 1

ステータス: メッセージのタイプを示すアイコンを表示します。

 重大メッセージ

 警告

 通常

メッセージ: 発生したイベントの簡単な説明が表示されます。

日付: イベントが発生した日時が表示されます。

- 4 詳細ビューのログメッセージを表示するには、[メモリログ] パネルの右隅にある [詳細] をクリックします。

メッセージログのメッセージを承認または削除できます。メッセージの承認の詳細については、[23 ページのセクション 3.4 「メッセージの承認」](#) を参照してください。メッセージの削除の詳細については、[25 ページのセクション 3.5 「メッセージの削除」](#) を参照してください。


3.3.2 システムメッセージログ


[システムメッセージログ] パネルには、管理ゾーンの ZENworks Server および管理対象デバイスによって生成された未承認メッセージが表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [システム情報] をクリックして表示します。

システムメッセージログ		日付	ソース
ステータス	メッセージ		
	ホスト: linuxdeserver を登録しようとする際に、一致する登録ルールが見つかりませんでした。デフォルト	10/26	linuxdeserver
	ホスト: linuxdeserver を登録しようとする際に、一致する登録ルールが見つかりませんでした。デフォルト	8 5	linuxdeserver
	ホスト: linuxdeserver を登録しようとする際に、一致する登録ルールが見つかりませんでした。デフォルト	8 5	linuxdeserver
	ホスト: linuxdeserver を登録しようとする際に、一致する登録ルールが見つかりませんでした。デフォルト	8 5	linuxdeserver
	ホスト: linuxdeserver を登録しようとする際に、一致する登録ルールが見つかりませんでした。デフォルト	8 4	linuxdeserver

ステータス: メッセージのタイプを示すアイコンを表示します。

 重大メッセージ

 警告

 通常

メッセージ: 発生したイベントの簡単な説明が表示されます。

日付: イベントが発生した日時が表示されます。

- 3 詳細ビューのログメッセージを表示するには、[システムメモリログ] パネルの右隅にある [詳細] をクリックします。

システムメッセージログからのメッセージを承認または削除できます。メッセージの承認の詳細については、[23 ページのセクション 3.4「メッセージの承認」](#)を参照してください。メッセージの削除の詳細については、[25 ページのセクション 3.5「メッセージの削除」](#)を参照してください。

3.4 メッセージの承認

承認済みメッセージとは、レビュー済みであり、承認済み (✓) というマークの付いたメッセージです。

- [23 ページのセクション 3.4.1「メッセージの承認」](#)
- [24 ページのセクション 3.4.2「複数メッセージの承認」](#)
- [24 ページのセクション 3.4.3「指定の時刻にログされたメッセージの承認」](#)

3.4.1 メッセージの承認

- 1 [メッセージログ] パネルまたは [システムメッセージログ] パネルで、承認するメッセージをクリックします。
- 2 [メッセージ詳細情報] ダイアログボックスで、[承認] オプションを選択して、[OK] をクリックします。

メッセージ詳細情報

メッセージの全文: デバイス sym6client が正常に登録されました

追加情報: なし

重大度: 情報

日付: 2008/08/05 14:37:46

承認日付: なし

ソース: /デバイス/ワークステーション/sym6client

message id: Novell.Zenworks.Registration.SUCCESSFUL_REGISTRATION

推定原因URL: なし

ログID: cb1f71063193b5d1326ba36d9ee6287f

関連オブジェクト: なし

☐ 承認

☐ 削除

<< 前のメッセージ 次のメッセージ >> OK キャンセル

承認済みメッセージが、[ステップ 1](#) で選択したパネルに基づいて、[メッセージログ] パネルまたは [システムメッセージログ] パネルから削除されます。

承認済みのメッセージは、これらのログの [詳細] ビューにチェックマーク (✓) 付きで引き続き一覧表示されます。

3.4.2 複数メッセージの承認

- 1 [メッセージログ] パネルまたは [システムメッセージログ] パネルで、パネルの右隅にある [詳細] をクリックします。
- 2 承認するメッセージを選択し、[承認] をクリックします。

承認 削除			
<input type="checkbox"/>	ステータス	メッセージ	日付
<input type="checkbox"/>		Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\in	07/08/06 15:18:45
<input type="checkbox"/>		シャットダウンアクションが即時再起動の要求を出しています。	07/08/02 14:20:38
<input type="checkbox"/>		Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\in	07/08/01 18:47:26
<input type="checkbox"/>		Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\in	07/08/01 14:57:34
<input type="checkbox"/>		Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\in	07/08/01 14:57:21

承認済みメッセージは、チェックマーク (✓) でマークが付けられます。

3.4.3 指定の時刻にログされたメッセージの承認

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [設定タスク] で、[メッセージクリーンアップ] をクリックして表示します。

メッセージクリーンアップ

このダイアログにより、特定の期間にメッセージログに書き込まれたすべてのメッセージを承認または永久に削除することができます。

アクション:

☒ 承認

☐ 永久に削除

日付の範囲:

開始日: 07/09/18

終了日: 07/09/18

フィルタ:

☒ なし

☐ デバイス:

OK キャンセル

- 3 [メッセージクリーンアップ] ダイアログボックスで、[承認] を選択します。
- 4 [日付の範囲] オプションで、[開始日] と [終了日] を選択します。
- 5 [フィルタ] オプションを選択します。
なし: 選択した日付範囲のメッセージがすべてのデバイスからクリーンアップされます。
デバイス: 選択した日付範囲のメッセージが選択したデバイスからクリーンアップされます。
- 6 [OK] をクリックします。

メッセージクリーンアップアクションが開始され、クリーンアップアクションの完了後にシステムメッセージがログされます。システムログの表示の詳細については、[22 ページのセクション 3.3.2 「システムメッセージログ」](#)を参照してください。

3.5 メッセージの削除

メッセージを削除すると、ZENworks システムからメッセージが完全に削除されます。

- [25 ページのセクション 3.5.1 「メッセージの削除」](#)
- [25 ページのセクション 3.5.2 「複数メッセージの削除」](#)
- [26 ページのセクション 3.5.3 「指定の時刻にログされたメッセージの削除」](#)

3.5.1 メッセージの削除

- 1 [メッセージログ] パネルまたは [システムメッセージログ] パネルで、削除するメッセージをクリックします。
- 2 [メッセージ詳細情報] ダイアログボックスで、[削除] オプションを選択して、[OK] をクリックします。



3.5.2 複数メッセージの削除

- 1 [メッセージログ] パネルまたは [システムメッセージログ] パネルで、パネルの右隅にある [詳細] をクリックします。

承認 削除			
<input type="checkbox"/>	ステータス	メッセージ	日付
<input type="checkbox"/>		Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\in	07/08/06 15:18:45
<input type="checkbox"/>		シャットダウンアクションが即時再起動の要求を出しています。	07/08/02 14:20:38
<input type="checkbox"/>		Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\in	07/08/01 18:47:26
<input type="checkbox"/>		Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\in	07/08/01 14:57:34
<input type="checkbox"/>		Upload Failure- uploading:f:\C:\Program Files\Novell\ZENworks\work\in	07/08/01 14:57:21

- 2 削除するメッセージを選択し、[削除] をクリックします。

3.5.3 指定の時刻にログされたメッセージの削除

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [設定タスク] で、[メッセージクリーンアップ] をクリックします。

メッセージクリーンアップ

このダイアログにより、特定の期間にメッセージログに書き込まれたすべてのメッセージを承認または永久に削除することができます。

アクション:

☒ 承認
☐ 永久に削除

日付の範囲:

開始日: 07/09/18

終了日: 07/09/18

フィルタ:

☒ なし
☐ デバイス:

OK

キャンセル

- 3 [メッセージクリーンアップ] ダイアログボックスで、[永久に削除] を選択します。
- 4 [日付の範囲] オプションで、[開始日] と [終了日] を選択します。
- 5 [フィルタ] オプションを選択します。
なし: 選択した日付範囲のメッセージがすべてのデバイスからクリーンアップされます。
デバイス: 選択した日付範囲のメッセージが選択したデバイスからクリーンアップされます。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [削除の確認] ダイアログボックスで、[OK] をクリックしてメッセージを削除します。

クリーンアップアクションの完了後にシステムメッセージが表示されます。システムログの表示の詳細については、22 ページのセクション 3.3.2 「システムメッセージログ」を参照してください。